

お・ら・ほの 自治会

まちづくりの原動力「自治会」
の活動を紹介します。



林 徳美会長（123世帯）
平成3年4月1日設立

小屋瀬自治会



高齢者と子どもが触れ合う「お楽しみ交流会」

◇文・写真 自治会提供

小屋瀬自治会は、百二十三世帯十五班で構成されています。組織は、総務部（納税兼務）、環境衛生部、管理部、健康福祉部、ふれあい事業部の五部制で活動しています。

年間の主な事業は、春から秋にかけては花壇づくりや道路・河川清掃など環境整備を行っています。

五月には、国際チャレンジデーの開催に合わせて、子どもから高齢者までが楽しめる「景品付きじゃんけん大会」など交流事業を行っています。六月には、くずまき高原牧場まつりへの参加出店、八月には、お盆行事を企画実施しています（本年度は中止）。そのほか、農村センタープールの監視当番を行っています。十一月には子どもと高齢者を対象に、お楽しみ交流会「やすみっこ」を開催。昨年は七十人が参加し楽しんでいただきました。三月には、班長と役員との合同慰労会を開き、労をねぎらい交流を深めています。

子どもが減少し、伝統行事でもあった地区対抗大運動会が中止となつて久しく、当時は懐かしむ声も聞かれます。また、高齢化が進み、高齢者支援事業への取り組みも課題となっています。

これからも、みんながアイデアを出し合いながら、活力ある快適で住みよい地域づくりに努めていきたいと思っています。

広報室から



◎「こんなことは、生まれて初めて」。先月、大雨の被災地周辺でどなたに尋ねても同じように返ってきた言葉です。夢中でシャッターを切りながらも水の威力に圧倒され、ただ見ているしかない人の無力さを感じました。マ次の日は何事もなかったかのように水が引き、ただ爪跡だけが無惨に残りました。わが家の場合、稲はせが倒れ、そのまま泥の中へ。今度は水もなくなり、ドロドロのまま、二度目のはせがけ。さて、今年のお米の味はどうなることや。自然は、いろいろなことを教えてくれますね。（落合）

◎14日の「ハイ、元気です」に登場してくれた田野由太郎さん。取材を終えて車へ向かうわたしの後ろ姿に、しばらくの間お辞儀をしてくれました。発車後も見えなくなるまで手を振り続け、わたしはうれいような気恥ずかしいような、マ優しい人柄に触れ、いつもより穏やかな気分。人の温かさっていいものですよね。自分も自然な振る舞いとして見習いたいと思ったひとコマでした。（星野）

誕生おめでとう



本地愛花ちゃん

9/13・四日市
保護者 太士・朋子



やすらかに

（世帯主）

松山トシノ（68 小苗代）行 広
五老岩之助（57 田代）コノエ
桂川吉太郎（94 星野）マツエ
竹田 和彦（59 新町）和 彦
久保 タマ（92 茶屋場）タ マ
坂下 キク（84 茶屋場）三 男
打田内敏明（59 四日市）セイ子
～以上 9月届け出分・敬称略～

※広報に載せてほしくない方は届け出のときに係にお話ください。

町の人口

	18.10.1現在	(前月比)
男	4,068人	(-5)
女	4,221人	(-4)
計	8,289人	(-9)
世帯数	2,922戸	(+3)
	(住民基本台帳)	